授業科目	保育所実習Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	篠木　賢一、池田　佐輪子、笠　修彰						
授業概要	この実習では、「保育所実習Ⅰ」で体験的に学んだ、保育所での乳幼児の生活の様子、乳幼児の 発達についての理解、保育所の機能や保育士の役割などに基づいて、実際に保育に参加し、保育 士として必要な資質・能力・技能を学ぶことを目的とする。さらに、家庭や地域社会の生活実態 にふれ、子育て支援に対する理解や能力を養うことを目的とする。なお、実習園では実務家による指導を受ける。						
授業形態	実習 （10 日間）			授業方法	保育所での実習		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 保育全般に参加し、習得した保育技術を実践に活かすことができる。 2. 乳幼児の個人差について理解し、子どもへの対応方法を実践できる。 3. 指導計画を立案し、それを実践できる。 4. 様々な保育ニーズについて理解し、保護者や地域社会との連携を説明できる。 5. 子どもの最善の利益への配慮を通して、保育士に求められる資質について説明できる。 6. 実習を通して自己の課題を明確に示すことができる。 達成すべき行動目標が実施できている。
理想的レベル	標準的なレベルに加え、貴重な現場体験を活かし、子ども観・保育観を深め、かつ実習園から保育士としての資質を認められる評価を得られる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	50%	実習日誌や各種提出物
その他	50%	実習施設からの評価表等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31605J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
1 日の実習を振り返り、実習日誌に記述する。	1

授業計画

第 1 回	1．保育所での事前オリエンテーション 2．保育所での実習 「保育所実習 1」の内容に加え、以下の項目について実習で学びと経験を深める A）実習生としての態度として以下の内容に努める ・意欲・積極性をもった実習を行う ・責任感をもって実習に取り組む

	・探求心をもって実習に取り組む ・他の保育士や職員と協調性をもって取り組む B）実習生としての知識や技能を養うために以下の内容に努める ・保育所の役割および保育士の職務の理解に努める ・子どもの理解と援助を行う ３．実習のまとめ、反省、今後の課題設定
テキスト	内閣府・文部科学省・厚生労働省,『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』,チャイルド本社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし
課題に対するフィードバックの方法	実習日誌や実習施設からの評価表等を用いて、実習事後面談を行います。
学生へのメッセージ・コメント	「保育所実習Ⅰ」の単位取得者であり、「保育実習指導Ⅱ」を履修し実習の実施要件を満たしている者 各自で実習の目標が達成できるように、教材開発や教材研究等を積み重ねておくこと。